

平成 30 年度
事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日から

平成 31 年 3 月 31 日まで



社会福祉法人 福寿会

平成30年度 社会福祉法人 福寿会 事業報告

社会福祉法人福寿会の現状に関する事項

(1) 事業の経過と概要

平成30年度は、法人としての一大事業として、平成29年度よりスタートした平城園の老朽化に伴う建て替え「平城園新築工事」という大規模な事業が、順調に進み、12月13日には、無事『竣工式』を迎えることができました。1月半ばには、3日間かけて旧施設より引っ越しを行い、入所者の皆様の新平城園での生活がスタートいたしました。ハード面が大変充実したこともあり、施設全体を使いこなすのも大変で、職員自身が戸惑うことも多々ありますが、できるだけ早く慣れて頂くよう努めてまいります。平城園は、各事業所とも、旧施設から新施設へという大きな変動のなかではありましたが、経営面では非常に安定しておりました。

また、今年1月18日より、平城園の既存解体工事が始まりました。既存解体工事の終了後は、秋の本竣工に向けて、引き続き駐車場造成工事が行われる予定です。建物は立ち上がりましたが、まだまだ工事は半ばであり、本竣工に向けて、ご利用者や近隣の皆様への安全対策を第一に考え、完成に向けて、職員一同、万全の態勢で取り組んでまいります。

昨年、奈良市の待機児童の解消や多様化する保育ニーズに対応するため、新設による認可保育所を設置運営する事業所として『奈良市民間保育所』（近鉄学研奈良登美ヶ丘周辺）の再公募に4月25日に応募し、事業候補者として決定いたしました。『登美ヶ丘マミーズ保育園新築工事』として、入札を行い、工事業者を決定いたしました。昨年末より、職員（保育士）の採用募集を行い、早くより準備したこともあり、幸いにも多くの応募者があり、質の高い職員を計画通り採用することができました。今後は、開設準備室を立ち上げ、今秋の開園に向けて職員一丸となって取り組んでまいります。

ならやま園においては、施設の老朽化が進み、計画的な修繕計画は大きな課題ではありますが、安定した1年であったように思います。平城園新築工事全般についても法人事業と考え、常に協力、支援態勢で臨み、法人職員としての意識を再確認しビジネススキルの向上に繋がったように思います。

人材育成としては、法人研修として継続して外部講師に定期的に両施設に訪問して頂き、現場のハード面を中心にご利用者が快適に過ごして頂ける空間を作り、ハードソフト両面から高品質なサービスを提供できるようご指導いただき、職員にとっては大きな学びの場となりました。

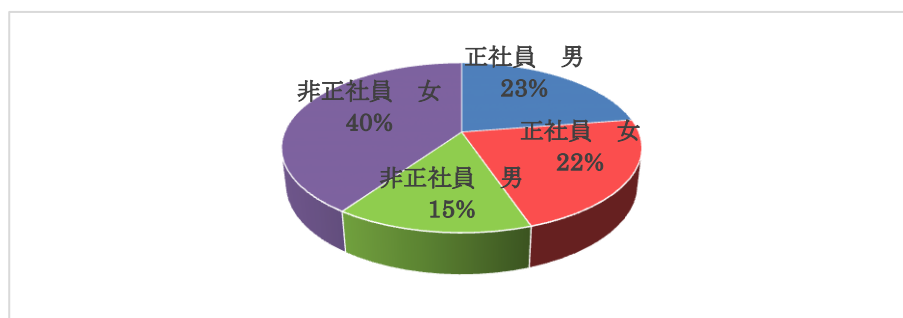
(2) 職員の状況

平成31年3月31日現在における職員数 正職員 111名 非正職員 137名 (合計 248名)

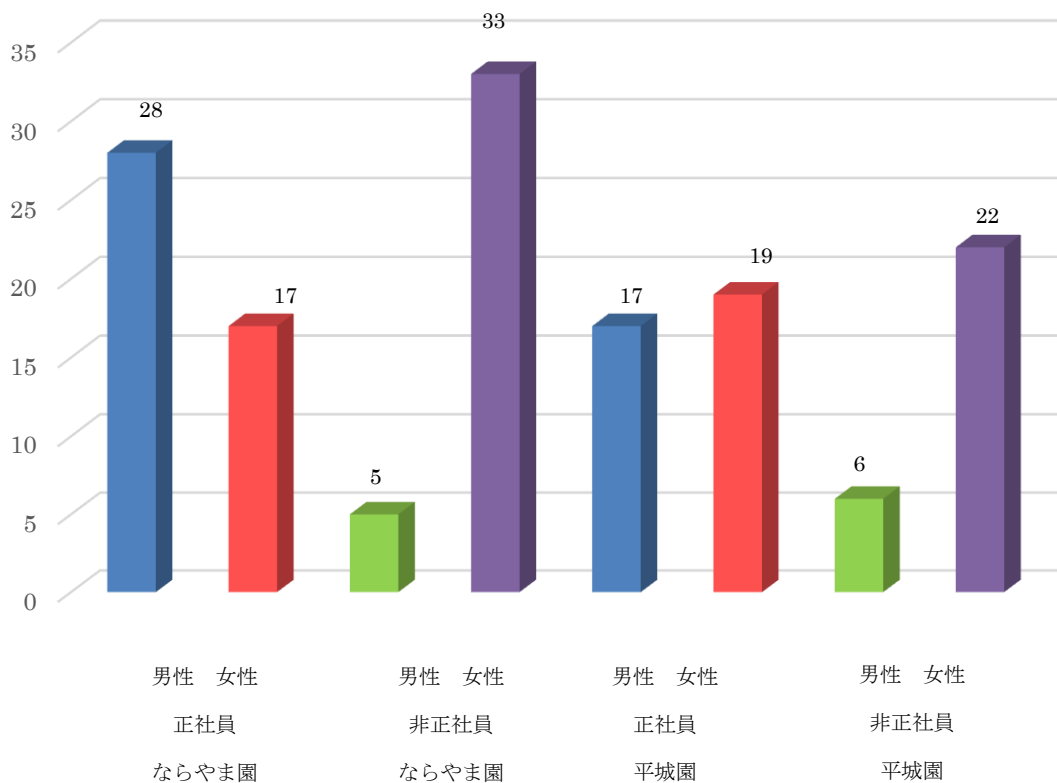
	ならやま園	平城園	本部ほか	計
正職員	58	52	1	111
非正職員	58	60	19	137
計	116	112	20	248

(産休・育休中4名・・・含まず)

① 職員 男女比 (全職員)



② 特養職員 (介護職員+看護職員)



(3) 理事会及び評議員会

理事会

開催日	主な審議事項	出席
平成30年6月9日(土)	平成29年度第2次補正予算について 平成29年度事業報告並びに計算書類等の承認について 定款細則について 諸規程の一部改正について 平成30年度第1回定時評議員会について 理事長の業務執行状況について	理事 6名 監事 2名
平成30年12月20日(木)	登美ヶ丘マミーズ保育園新築工事入札について 予定価格調書の決定について 平城園 奈良市貸付の土地について 寄附金等取扱規程について 理事長の業務執行状況について	理事 5名 監事 2名
平成31年3月14日(木)	基本財産の処分承認申請の提出について 定款変更(案)について 経理規程の一部改正について ケアハウス施設整備等積立資産取崩しについて 平成30年度補正予算(案)について 2019年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について 就業規則の一部改正について ならやま園空調設備の改修工事の指名競争入札について 予定価格調書の決定について 平成30年度第2回評議員会の招集について 理事長の業務執行状況について	理事 5名 監事 2名

評議員会

開催日	主な審議事項	出席
平成30年6月28日(木) 定時評議員会	平成29年度事業報告並びに 平成29年度第2次補正予算について 平成29年度計算書類等の承認について	5名
平成31年3月28日(木)	基本財産の処分承認申請の提出について 定款変更について 平成30年度補正予算について 2019年度事業計画並びに収支予算について	7名

(4) 部門別報告

特別養護老人ホームならやま園 (定員 84 名)

○介護部門

(1) 介護人材の確保・育成と選ばれる施設作り

介護の人材の確保が難しい中、奈良県福祉人材センター、奈良県介護労働安定センター、ハローワーク奈良、私立大学主催の就職フェアに参加し、当園の魅力をアピールする場に積極的に参加を行った。退職する職員は数名はいたものの、業務運営は安定していたように思う。今後も当園の強みや魅力を発信し、介護の仕事を目指す人の確保に努めたい。

(2) リーダー・サブリーダーの育成

今年度は新たにサブリーダー1名が指導職に就いた。介護の現場において指導層の育成は重要な課題と考えており、まずは指導職を育成し、新人・中堅・中途採用の職員が安心して勤務できるように、今後も力を入れていきたい。

(3) 利用者の「その方らしい」生活の実現

利用者が施設に入所しても不自由なく、在宅生活の延長として生活できるよう、会議やカンファレンスを通して、その重要性を職員に伝えてきた。職員の日線ではなく、利用者の立場に立った援助ができるように、チームとしての援助の在り方を検討し続けたい。

(4) 地域包括ケアシステムでの特養の役割

地域の包括支援センター、在宅の事業所、病院、自治会と連携を取りながら、地域で生活をされている方の様々な相談に対応した。高齢者の急激な増加が見込まれる2025年に向けて、今後も信頼関係を構築して行きたい。

(5) 地域貢献活動の推進

「奈良県社会福祉法人共同事業(まほろば幸いネット)」に加盟し、奈良市社協や他の法人との情報共有を積極的に行った。また、法人の地域貢献活動として、平城駅周辺の清掃活動に参加したり、園内の地域交流スペースを地域の住民の方々の憩いの場所として使用して頂いたり、開かれた施設作りに努めた。

(6) 地域の防災拠点としての役割

一昨年度から活動をしている「災害対策委員会」を中心に、施設における災害対策として、年に2回の防火訓練、1回の風水害・土砂災害の避難訓練を実施した。平城地区社会福祉協議会とも連携し、今後の災害に備えて協力体制を構築していきたい。

①在園年数 (H31.3.31 現在)

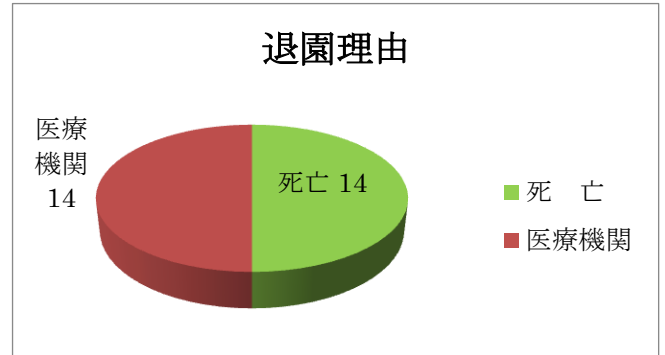
	1年未満	1年～ 3年未	3年～ 5年未	5年～ 7年未	7年～ 10年未	10年以上	計
男性	7名	3名	0名	2名	0名	0名	12名
女性	18名	21名	15名	8名	2名	6名	70名
合計	25名	24名	15名	10名	2名	6名	82名

②利用者年齢構成 (H31. 3. 31 現在)

区分	60～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計
男性	1名	0名	0名	3名	3名	5名	0名	0名	12名
女性	1名	1名	2名	12名	19名	20名	12名	3名	70名
合計	2名	1名	2名	15名	22名	25名	12名	3名	82名

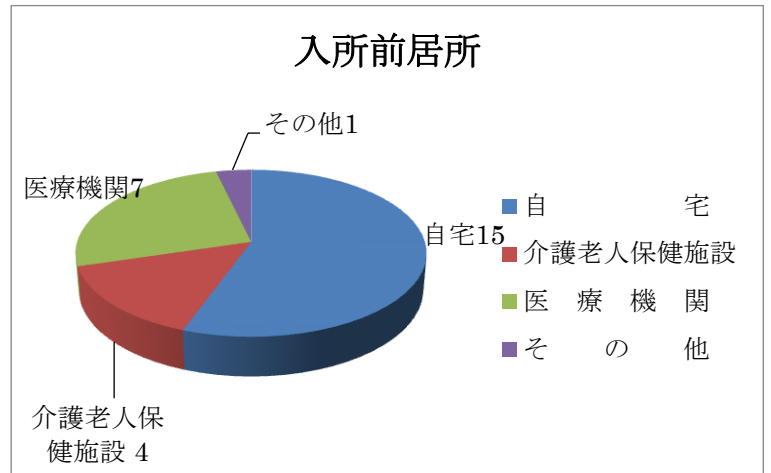
最低・最高年齢 (H31. 3. 31 現在)

	最低年齢	最高年齢	平均
男性	64歳	93歳	85.3歳
女性	69歳	102歳	89.0歳



入退園の状況 (年間)

	性別	年間合計
新規利用者数	男性	7人
	女性	20人
退去者数	男性	6人
	女性	22人



③利用者介護度別延べ人数 (従来型)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	介護度平均
30年度	0	0	2,832	9,803	6,019	18,654	4.06
29年度	0	0	3,766	7,799	6,870	18,435	4.15

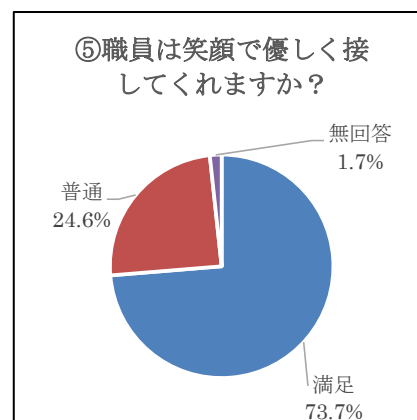
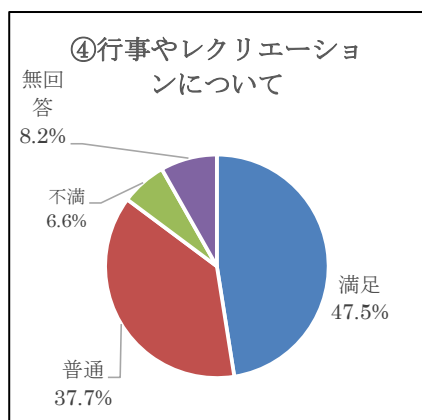
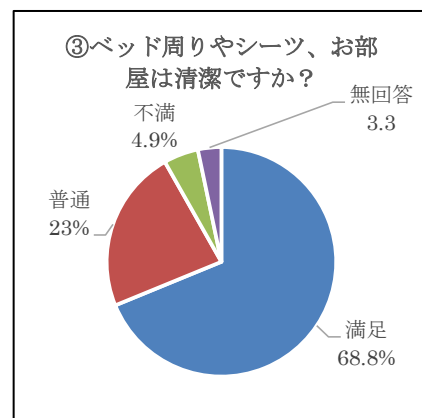
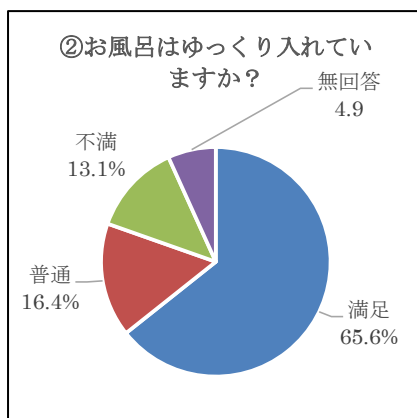
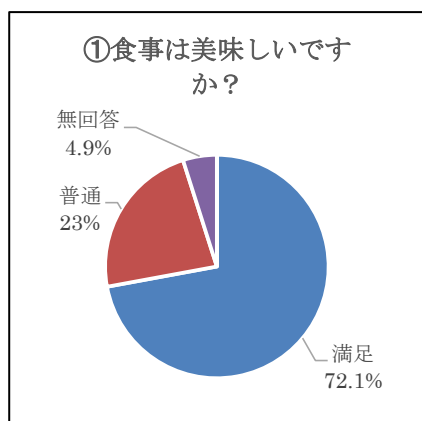
(ユニット型)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	介護度平均
30年度	0	0	3,283	4,325	2,505	10,113	3.80
29年度	0	0	2,712	4,116	3,692	10,520	4.07

◇ 特養 満足度調査

ならやま園では利用者の生活向上、職員の意識向上のために毎年、利用者から満足度調査を行っている。今年度の結果を報告する。

※下記5項目について、1.満足 2.普通 3.不満 4.無回答 の4段階評価にて回答してもらった。
(平成 31 年 3 月実施)



* 平成 29 年度に比べ 5 項目について「満足」の評価が上昇している。今年度も利用者の満足度を高めていきたい。

○医療・看護部門

(1) 施設内感染の予防

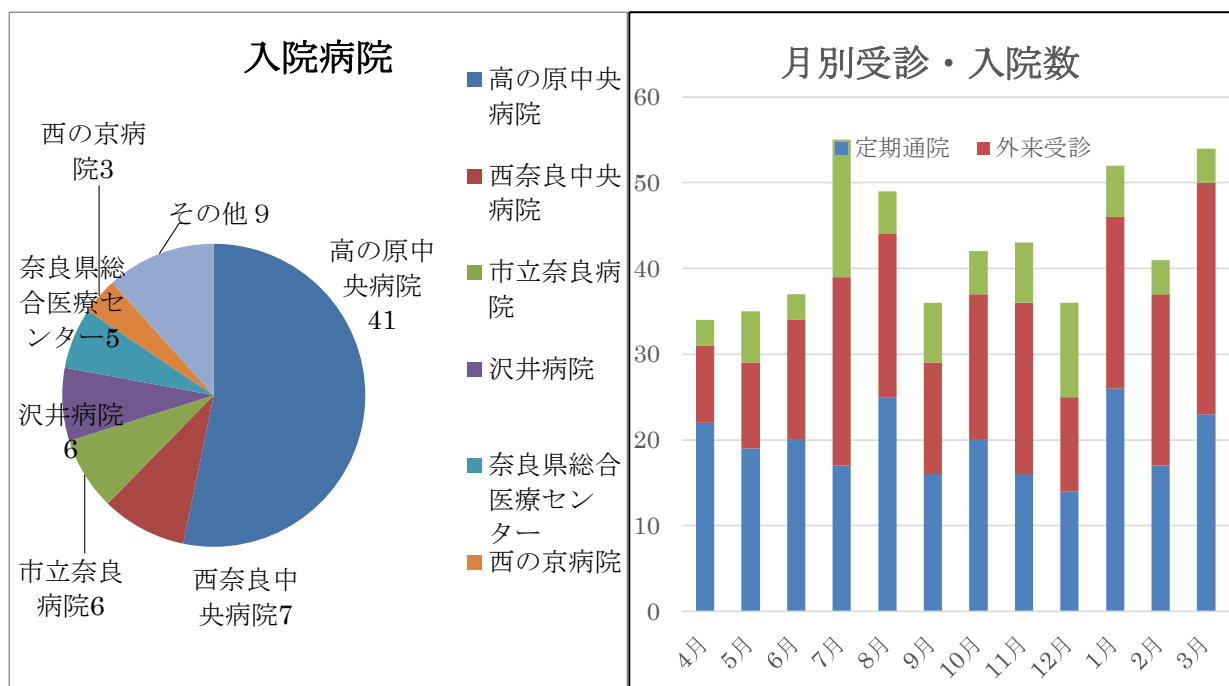
「換気」と「加湿」に重点を置き、去年は時間を決めてフロアの換気を行っていたが、それに加えて、居室の換気を徹底して行った。加湿器に加え、濡れタオルを居室に吊り、常に濡れている状態を保つようにした。風邪症状がある利用者は食事席を他の方と隔離する、居室対応するなどし、接触による感染拡大の予防に努めた。施設内でのインフルエンザ、感染性胃腸炎等の感染症の発症、拡大はなかった。

(2) 職員の健康管理

ストレスチェック受検者が 35 名から 70 名へ増え、希望者には産業医との面接も実施した。健康診断は全員が受けることができた。

(3) 利用者の健康管理

医療機関の定期外来通院者と、突発的に外来を受診した方の合計は35.5名/月となった。入院者数は延べ77名で昨年度の約1.5倍であった。猛暑の影響もあってか体調を崩すご利用者が多く、7月、8月の2か月で21名が入院した。昨年同様、高の原中央病院へ入院が多く、近隣の医療機関への依頼が多い。



○個別機能訓練部門

今年度も多職種と連携を図りながら、利用者の状態を把握し、定期的に理学療法士の指導を受け、情報を共有すると共に個別機能訓練計画書の立案ができた。また、個別機能訓練計画書に沿って訓練を継続的に実施、評価し利用者が生活しやすい環境を整え、身体機能の維持に努めることができた。

機能訓練状況（介護職員担当の生活の中での活動を含む 平成31年3月31日現在）

	既存 2F	既存 3F	ロータス和	ロータス悠
集団体操	16	16	14	14
歩行訓練	8	11	9	6
立位訓練	12	11	6	8
筋力増強訓練	11	10	8	10
体重移動訓練	1	2	1	1
離床	3	11	4	1
滑車	設置なし	6	設置なし	設置なし
車椅子自操	6	2	3	4
関節可動域訓練	8	14	3	3
ポジショニング	6	11	3	4

○栄養管理部門

(1) 栄養ケアマネジメントの実施

多職種協働で個々の利用者の状況に対応した個別対応の食事提供ができるよう取り組んできた。カンファレンスにも参加し、特養利用者全員に栄養ケアマネジメントを実施できた。食事療法が必要な方には療養食の提供も行っている。今後も利用者が健康を維持して頂けるよう取り組んでいきたい。

(2) 家庭的で季節感のある食事や行事食の提供について

食事からも日常生活に楽しみや変化を持って頂けるよう、誕生食、好み食、選択食、行事食、おやつレクリエーションなどを実施できた。

(3) 食事内容の向上について

喫食状況を観察し、利用者や職員と会話をする中で嗜好や嚥下状態等を把握し、献立や調理、盛付等、食事内容に反映できるよう取り組んできた。

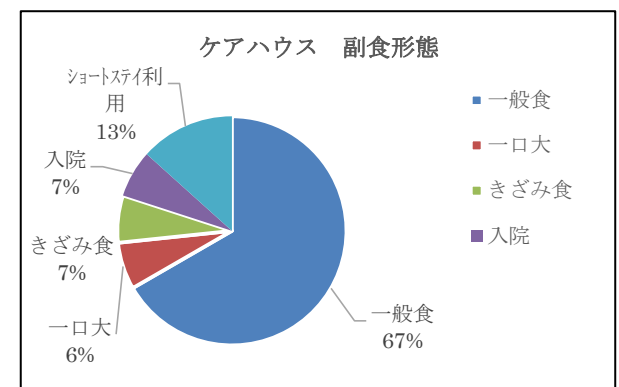
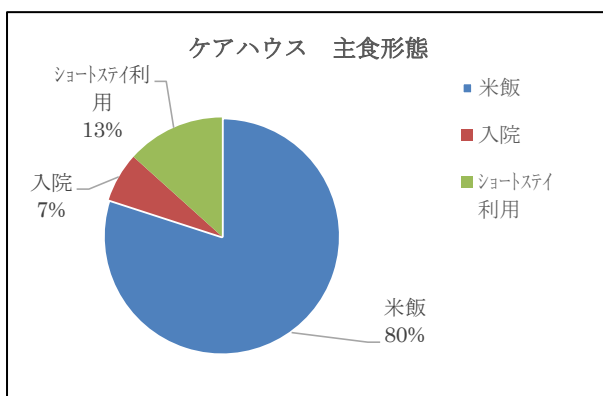
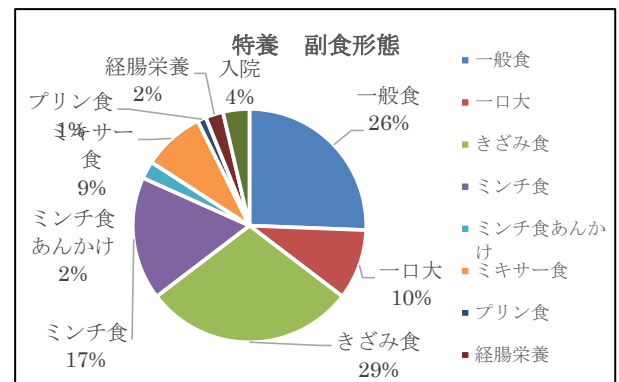
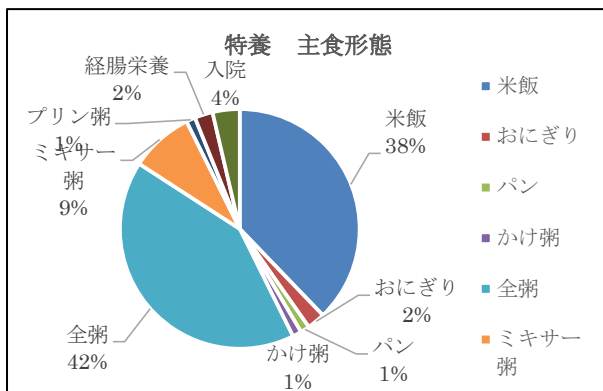
(4) 食中毒予防や感染症対策など、安全な食事の提供について

大量調理衛生管理マニュアルに基づいた衛生管理に努めてきた。感染症対策委員会への参加や食中毒予防の施設内研修を行い、施設全体での取り組みも行うことができた。

(5) 非常災害時の備蓄について

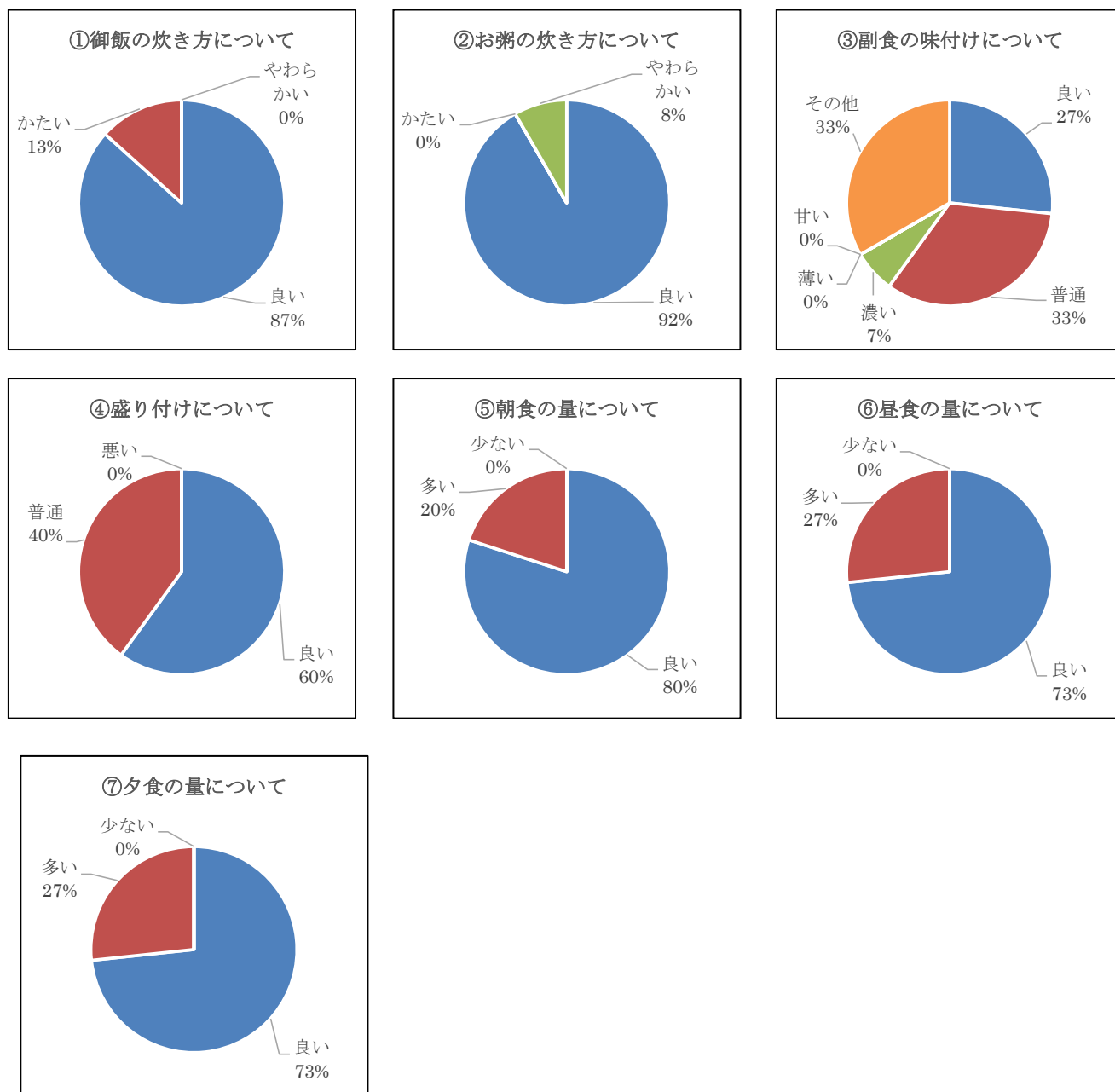
非常食を使い捨て容器と共に利用者3日分を備蓄している。賞味期限を把握し、献立に入れる事で無駄なく入れ替えを行うことができた。又、非常食使用時は利用者や職員に意識喚起を行った。

食事形態（平成31年3月31日夕食現在）



◇ケアハウス満足度調査（嗜好調査）結果

平成 31 年 1 月実施 回答率 100%



⑧今後希望される料理

- ・刺身 ・にぎり寿司 ・散らし寿司 ・鰻井
- ・茶碗蒸し ・シチュー ・コロッケ ・漬物
- ・やわらかいステーキ（牛肉）

⑨食事についての満足度を 100 点満点で評価 平均 84.0 点

⑩その他、食事に関する御意見、御希望（抜粋）

- ・いつもおいしく頂いております。
- ・日によって味にばらつきがある。
- ・あんかけのあんをかけないで欲しい。
- ・御飯がかたい時がある。
- ・高齢者用の料理なので残してしまう。
- ・夕食後のデザートを果物にして欲しい。

○ボランティア部門

今年度は新たなボランティアグループの登録もあり、利用者に癒しの時間を提供している。1月～3月にかけてインフルエンザが流行し、当園での利用者の発症は見られなかったが、念のため特養での活動を中止した。

今後もボランティアの積極的な受け入れを行い、利用者を楽しい時間を提供していきたい。

月別活動延べ人数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
30年度	111	122	115	127	106	113	121	104	95	86	82	94
29年度	125	127	118	124	126	146	114	120	109	117	118	120

集計

	年間延人数	月平均	1日平均
30年度	1276	106	5.3
29年度	1464	122	6.1

ならやま園ショートステイサービス（定員 16 名）

（1）新規利用者の確保、職員やサービスの質の向上

平成 30 年度は前年度に比べ、利用者数は増加したものの、新規登録者が減少しており、以前より利用しておられた方のリピート率が高くなった傾向と思われる。登録者を増やしていく事で今後の継続利用が期待でき、安定した利用に繋がると考えている。また今後も利用者や家族からの意見等を速やかに職員間で共有し、サービスの質の向上に努めていきたい。

（2）空きベッドの積極的な利用

空きベッドを積極的に利用し、各部署と連携を取りながら緊急の受け入れにも対応してきた。独居の方や高齢者夫婦、家族の介護負担軽減など、在宅での生活が困難となるケースも多く、各事業所や家族とも連携をとり、出来る限り受け入れできる体制を整えた。

（3）家族との太いパイプ作りに努め利用者に関する情報の共有に努める

ご家族や各事業所、関係各機関とこまめに連携をとり、利用者が安心して利用できる生活空間の提供に努めてきた。利用者やご家族からの意見や要望には迅速に対応するよう心掛けた。

	延利用 日数	稼働率	延利用 者数	身障	介護度別利用日数（日）						
					要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
30年度	5554日	95.1%	486人	0日	0	38	381	939	2295	991	913
29年度	5188日	88.8%	459人	0日	0	24	147	378	1704	1857	1078
増減	366日	6.3%	27人	0日	0	14	234	561	591	-866	-165

ならやま園デイサービスセンター（定員 39 名）

（1） 職員が提供する介護から利用者にして頂く介護へ

「利用者自身でして頂ける事は何か」会議を重ね、出来る事からして頂いた。例えば今までお茶は職員が全て注いでいたが、各テーブルにポットやコップを設置し利用者同士でお茶を注ぎ合って頂く様にした。その事で利用者同士の新たな会話も生まれ新しい発見となった。その他にも台拭きやレクリエーションのフォロー等出来る方には手伝って頂き、支援が必要な方へは細やかな支援が出来る様に取り組んだ。

（2） 選択出来る環境を増やし利用者の満足へ繋げる

2年前から実施しているが、雑誌や問題集、塗絵や手先を使うもの等、種類を増やし利用者へ選んでいただく項目をふやした。ご利用者の年齢層が60歳代～100歳までと様々である為、今後もニーズの抽出を行い対応していきたいと考えている。

（3） 外部居宅のケースを増やすための営業活動を強化する

今までならやま園の居宅からのケースが全体の2/3を占めていたが、ここ最近ではならやま園以外の居宅からの紹介が増え半分以上になっている。増えた要因として、ならやま園のデイサービスの売りが明確になり、リハビリ特化のデイサービスよりも、ある程度の専門的な運動も継続したいし、入浴もしたいといった方の受け皿になってきた。今後もケアマネジャーへのアプローチをしていきたいと考える。

（4） 職員の育成及び介護技術・サービス向上について

利用者の支援に対し負担の少ない介助方法を作業療法士より都度説明を受け、実演を通して指導を受ける事により、リスクを把握した介助が浸透してきている。

要介護度別利用者数								合計	営業日	平均/ 日
年度別	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	身 障			
30年 度	786	1,857	3,153	1,849	1,289	514	0	9,448	307	30.77
29年 度	463	1,355	3,254	1,642	1,296	637	0	8,747	309	28.30
増減	+323	+502	-101	+207	-7	-123	0	+701	-2	+2.47

ならやま園ホームヘルプステーション

平成30年度はサービス提供責任者3名と非常勤ヘルパー9名での職員配置で事業を実施した。離職はなく職員は定着して業務にあたっている。

(1) 新規利用者の確保

外部居宅事業所、地域包括支援センターからの依頼が増加して、可能な限り積極的に受けてサービス提供にあたってきた。

(2) 利用者のニーズに合ったサービス提供

- ・認知症を有する独居高齢者にふさわしいサービスの提供を行った。
- ・日々利用者の状況は変化しており関係機関との連携を密に取りヘルパー間での連絡体制を確実にいき統一した支援を行ってきた。

今後もヘルパーの訪問を心待ちにしてくださるご利用者の為ニーズにお応えできるような支援を提供していきたいと考える。

訪問介護・介護予防延数

	介護	予防	計
30年	6292	1886	8178
29年	6297	2077	8374
増減	-5	-191	-196

ならやま園居宅介護支援事業所

平城園とならやま園との人事異動もあり、お互いの事業所を理解する良い機会となった。双方の交流と情報交換ができたと思う。

(1) 地域包括支援センターとの連携

介護予防ケアマネジメントに関しては北部、平城、三笠、伏見、登美ヶ丘、京西・都跡、二名、武雄市（佐賀県）と給付管理を伴う連携を行った。給付管理には至らないが必要に応じて各地域の包括支援センターとの情報共有に努めた。また、包括支援センター主催の研修（年4回程度）にも参加し、地域における支援と連携について取り組んだ。

(2) 居宅介護支援事業所としてのレベルアップ

継続して週1回、ケアマネジャー会議を行っている。平成30年度は51回開催し、情報共有等に努めた。また、平城地域の他居宅介護支援事業所との勉強会を年4回行い、情報交換を行った。

(3) 地域活動の参加

前年同様、地域ニーズを把握出来るように担当者を決めて継続的に地域活動に参加している。定期参加（月1回程度）が3ヶ所、不定期参加（年1～2回）が2ヶ所あり、積極的に参加している。

(4) 介護ケアマネジメントと適正化について

年々、相談内容が多種多様化しており、サービス調整も複雑化してきている。ケアマネジメント業務を行う上で、公正かつ中立なサービスの選択を行えるように、利用者本位および自立支援を意識しながら支援にあたっている。

(5) ケアプラン作成件数と認定調査について

ケアマネジメントの質の向上の一つとして、奈良市委託事業である認定調査を行っており、ケアマネジメント業務に支障が出ないと考えられる件数（1人4件/月程度）を年間通して行うことが出来た。奈良市以外の認定調査に関しても依頼に応じて対応した。

利用者延件数（ケアプラン作成）

	予防	要介護	計
30年度	506	1601	2107
29年度	638	1843	2481
増減	-132	-242	-374

認定委託件数（市町村委託総数）

30年度 計	200
29年度 計	242
増減	-42

ケアハウスニューライフならやま（定員15名）

入居者様ひとりひとりの思いを尊重しつつ、身体面・精神面の観察を重視し不安なく生活して頂けるよう心がけた。しかし、自立した生活に少し不安があり介護保険を利用される方が増えている。今後もケアハウスでの生活に不安なく過ごして頂けるようご本人と話し合い、又、家族や介護支援専門員との連携を取り支援を行っていききたい。

介護度（平成31.3.31現在）

	自立	要支援	介護1	介護2	介護3	合計
男性	0名	0名	0名	0名	0名	0名
女性	2名	2名	5名	5名	1名	15名
小計	2名	2名	5名	5名	1名	15名

福寿会配食サービス（奈良市委託事業）

例年通り奈良市の委託事業としての配食サービスと、市のサービス受給条件を満たさない自費による利用者への昼食配達を実施した（土・日及び12/31～1/31 休み）

「福寿会配食サービス」として事業を展開し、地域の方にもサービスが浸透してきている。来期は配食サービスの本部をヴィラ秋篠へ移転することとなったが、今後も配達時に日々の変化を見逃さないように見守りを行い、関係機関と連携を取って行きたい。

（１）配食サービス実施状況

・奈良市からの委託配食数 ・自費による配食数

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
市委託配食数	650	667	626	642	659	577	645	606	540	552	527	548	7,239 (前年比-1739)
自費による配食数	408	423	487	613	625	613	720	676	598	574	540	551	6,828 (前年比+1294)
合計	1058	1090	1113	1255	1284	1190	1365	1282	1138	1126	1067	1099	14,067 (前年比-445)
配食日数	21	23	21	22	23	20	23	22	20	20	20	21	256
1日平均配食数	50.3	47.3	53	57	55.8	59.5	59.3	58.2	56.9	56.3	53.3	52.3	54.94 (前年比-1.52)

（２）奈良市よりの新規委託件数

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規件数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	3 (前年比-1)

（３）平成30年度利用者数（平成31年3月31日現在配食者数）

- ・奈良市委託分 46名 (前年比 -14名)
- ・自費 46名 (前年比 +2名)

□委員会活動

(研修委員会)

毎年、年間計画を定め計画的な研修を行っている。職員全員、特養とデイサービス職員、特養介護職員と対象を3つのグループに分けて研修を行った。研修の講師については、各部署や各フロアから担当を決めて行っている。現在の研修体系ができてから5年ほど経つが、定型の研修ではなく、グループワークを通して皆で考えることができる機会となっている。

今年度も法人研修として「環境がケアを変える！」をテーマに山下総司先生を招き、指導を頂いた。職員の見線ではなく、利用者から見線から施設の環境を整えることに繋がった。

来年度は「皆が学びたい研修」「参加したい研修」をテーマに研修体系を見直し、意欲的に参加できる研修を目指したい。研修を通じての情報交換、他部署とのコミュニケーションを図り、職員の学びの環境を整えて行きたい。

(感染症委員会)

毎月一回、理事長、看護師、栄養士、各部署の職員が集まり、利用者との健康状態についての報告や感染症の情報交換を行った。委員会として毎月目標を掲げ、各部署内に掲示することで、感染症に対する意識を高めている。

一昨年に続くインフルエンザの流行にも関わらず、利用者から感染者が出なかったことは職員の感染症予防に対する意識が向上したと考えている。

来年度も職員全員が「施設内に感染症を絶対に持ち込まない！」という意識を持って、利用者の安全を守って行きたい。

(危機管理委員会)

毎月1度、各部署から担当の職員が集まり、事故の報告、対策について話し合いを行っている。起こってしまった事故に対して、今後も同じことが起きないように事故検討、対策を行った。転倒や骨折、疾病、内出血、誤嚥など様々な事故が考えられるが、予防の観点から様々な検討を行えた。

今年度も6月と10月に防災訓練を行った。6月には夜間、10月には昼間の火災を想定して行っている。限られた職員数の中でいかに利用者を守れるか、「どこに」「だれに」連絡をし、だれが指揮を取っていくのか。今後、起こりうる大規模災害に備えてまだまだ課題を感じたが、利用者が安全に暮らしていけるように対策をしっかりと講じて行きたい。

特別養護老人ホーム平城園(定員 110 名→定員 70 名 ※H31.1.16～)

ユニット型 特別養護老人ホーム平城園(定員 40 名 ※H31.1.16～)

旧平城園東棟の解体工事に伴う居室の増設、居室移動に始まり新平城園の完成、全入園者の引っ越し、旧平城園の解体工事の開始と実に大変な 1 年になった。

この間、関係者各位の努力があり、事故もなく新平城園でのスタートができた。

来年度は平城園全体の完成(駐車場、ならデイサービス、事業所内保育園)とソフト面の充実の年になる。

○介護部門

(1) 新規施設に向けての体制整備

新規施設に向け、新築工事に伴う問題等を職員全体から聞きとり、新しい施設が利用者と職員にとって過ごしやすい場となるように建築会議で提案し新規施設へと移行できた。

また、ソフト面でも、新施設での業務の組み立てやご利用者の引っ越しなど限られた時間の中で、平城園の職員が一丸となり、大きな事故も無く移行することができた。

移行後も、業務の修正、設備の変更を行い、よりご利用者と職員が過ごしやすい場となる様に変更を重ねている。

(2) 人材育成体制の充実

研修委員会を中心に施設内研修を計画、実施してきたが、新規施設へ移行後に感染症が発症したことにより、計画通りに実施ができないこともあった。

また、新規採用の職員が増えてきており、OJT、OFF・JT を活用し指導育成を行っていく。

(3) 新規施設の開設に備えた質の高いケアの充実

既存の施設では、利用者の生活の質を維持する為、多職種連携の下にケアを実施することができた。また、新規施設に向けては、利用者の介護面・医療面とも情報共有しながら検討を重ねスムーズに移行することができた。ユニットケア開始に向けては施設内勉強会や、ならやま園ロータスホームの見学等実施し職員への理解や浸透を深めた。今後も質の高いケアを提供できるように、多職種連携をとり、今までよりも良いケアが提供できるように努力していく。

(4) 大規模災害に備えた防災・減災及び防災計画の点検と見直し

新規施設での防災計画を作成することができた。今後計画を実施していく中で、より使用しやすい計画へ修正を重ね、周辺地域の自治会等と協力し、平城園が災害時の避難拠点となるべく機能強化を図っていく。

○介護サービス支援室

本年度は、新築移行に向け、準備を進めてきた。1 月度に新施設へ無事引っ越しを完了することが出来た。これまで培ってきた実績に加えて、より魅力的で、強みのある新施設を創るため整ったハード面に負けないよう、ソフト面の充実にも注力した。

- (1) 運営基盤の安定を目指し、稼働率の維持、向上をはかった。稼働率については、年度を通して、常に上回ることができた。地域へ向けては、新施設の魅力を発信し、新設ユニット型入居希望者を中心に新たな顧客を獲得できた。
- (2) 既存施設から新施設への移行にあたり、既入居契約者へ早期よりアンケートや相談会を行い、転居先の提案を実施し、大きな混乱なく、新施設へ転居頂いた。
- (3) リスク管理の徹底を心掛け、各部署と連携強化をはかった。また、常に法令遵守を意識し、業務に取り組んだ。新施設に対応できるマニュアル作成を行い、改善すべき箇所については、随時見直しを行っている。
- (4) 未来へつながる人材育成を目指し、研修の充実及び適正な人員配置を検討した。新設ユニット型については、新施設移行前より、勉強会を実施し新しいサービス提供ができる人材育成に努めた。人材確保については、奈良県福祉介護認証制度等も利用し、PRに努めている。入職者を獲得することは出来ているが、人材不足解消には至らず厳しい状況が続いた。
- (5) 施設設備全般の保守点検と安全確保に取り組んだ。新施設については、現場の声を集約し、より安全で安心な施設づくりに取り組んでいる。

①在園年数

・従来型

在園年数 (31.3.31 現在)						単位：人
	1年未満	1年～ 3年未満	3年～ 5年未満	5年～ 7年未満	7年～ 10年未満	合 計
男性	5	10	3	1	0	19
女性	6	18	12	8	4	48
合計	11	28	15	9	4	67
平均在所日数 ■男性 2年0ヵ月16日 (746日) □女性 3年4ヵ月15日 (1230日) <u>平均2年11ヵ月29日 (1093日)</u>						

・ユニット型

在園年数 (31.3.31 現在)			単位：人
	1年未満	合 計	
男性	4	4	
女性	31	31	
合計	35	35	
平均在所日数 ■男性 1ヵ月27日 (58日) □女性 2ヵ月7日 (66日) <u>平均0年2ヵ月6日 (65日)</u>			

②入園者年齢構成 最低・最高年齢

・従来型

入所者年齢構成 (31. 3. 31 現在)								単位：人
	70歳未満	70歳～ 75歳未満	75歳～ 80歳未満	80歳～ 85歳未満	85歳～ 90歳未満	90歳～ 95歳未満	95歳 以上	合計
男性	1	0	7	3	3	5	0	19
女性	0	5	6	10	14	8	5	48
合計	1	5	13	13	17	13	5	67

・ユニット型

入所者年齢構成 (31. 3. 31 現在)								単位：人
	70歳未満	70歳～ 75歳未満	75歳～ 80歳未満	80歳～ 85歳未満	85歳～ 90歳未満	90歳～ 95歳未満	95歳 以上	合計
男性	1	0	0	1	1	1	0	4
女性	0	0	1	5	9	11	5	31
合計	1	0	1	6	10	12	5	35

・従来型

最低・最高年齢 (31. 3. 31. 現在) 単位：歳			
	最低年齢	最高年齢	平均
男性	61	93	82.2
女性	70	104	85.4

・ユニット型

最低・最高年齢 (31. 3. 31. 現在) 単位：歳			
	最低年齢	最高年齢	平均
男性	69	91	82.0
女性	76	101	89.5

入退園の状況

・従来型

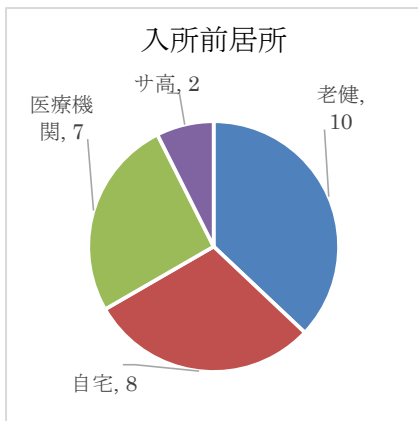
入退園の状況 (年間)		
	性別	年間合計数
新規 入居者	男性	7名
	女性	20名
退園者	男性	9名
	女性	23名

・ユニット型

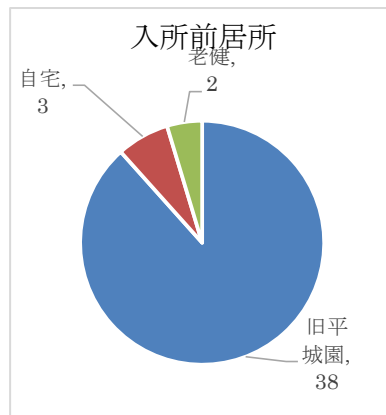
入退園の状況 (31. 1. 16～31. 3. 31)		
	性別	年間合計数
新規 入居者	男性	1名
	女性	4名
旧平城園 より移行	男性	7名
	女性	31名
退園者	男性	3名
	女性	3名

入園前の状況

・従来型

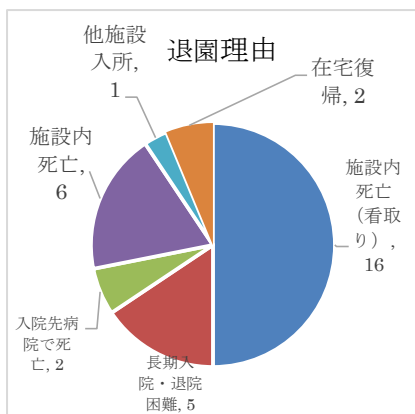


・ユニット型

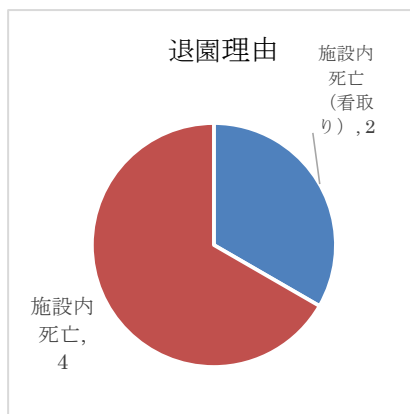


退園理由

・従来型



・ユニット型



③入所者介護度別延べ人数

・従来型

入園者介護度別延べ人数 (31年3月31日現在)							
年 度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計	介護度平均
H30年度	152	1252	13931	12295	7909	35539	3.82
H29年度	365	1945	11496	14203	9190	37199	3.80

・ユニット型

入園者介護度別延べ人数 (31年3月31日現在) ※1月16日開始							
年 度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計	介護度平均
H30年度	0	0	1415	973	346	2724	3.63

○看護部門

目標：利用者の人権を尊重し「安全・安心」「納得・信頼」のある看護を提供する。

(1) 利用者の健康管理と異常の早期発見に努める。

介護職員との連携を密にして異常の早期発見と、日々の状態観察を行い利用者の変化を速やかに医師に報告し、指示のもと健康保持に努めた。

基礎疾患を有する利用者が多く一人が複数の診療科を受診しており医療機関への受診は前年度と変わらず多かった。(表1・表2)

(2) 感染症の対策

30年度は新築移転ということでさらに職員各自の感染予防対策の徹底、換気や室温湿度など環境の管理、面会者や業者への感染予防策等行っていたが、2月に2階葵の利用者3名にインフルエンザ発症があった。即日から罹患者の居室隔離と全館面会の中止、職員のフロア間の往来を禁止、リハビリ・喫茶・入浴も制限したが、その後感染の拡大が見られた為、奈良市保健所への報告と指示を仰ぎながら3月上旬まで同対策を実施した。

今回の感染拡大の反省を踏まえ今後の対策の改善を検討した。感染対策委員会を主体として、各職員の意識を高めることができるよう施設内研修を実施し、基本となる感染マニュアルの周知を図った。

(3) 利用者・家族の納得いただける看取り介護の提供

本年度園で亡くなられた方は27名(前年度17名)、うち看取り介護を受けられたのは18名だった(前年度11名)。園での看取りを選択される家族は増えており、より良い看取り介護を提供できるよう看取り委員会を中心に施設内研修にも取り組んだ。

園で看取り介護を受けられた家族には偲びのカンファレンスに参加いただき、共に故人を偲び、ケアの振り返りの場として今後のケア向上に繋がるよう努めた。

(4) 褥瘡発生予防の体制

褥瘡ケア計画書を作成し3か月毎見直しを実施した。6件の褥瘡発生があったが、多職種協働により褥瘡の早期発見と適切な処置を行い治癒する事が出来た。施設内研修を実施し、褥瘡予防に対し職員の認識を深めることができた。

(5) 医療的ケア(痰の吸引・経管栄養)の研修

本年度は2名の介護職員に対し認定特定行為業務者認定証取得のため、指導看護師による実地研修を行った。医療的ケア推進対策委員会にて医療と介護の連携を図った。

表1 <利用者の受診・入院状況>

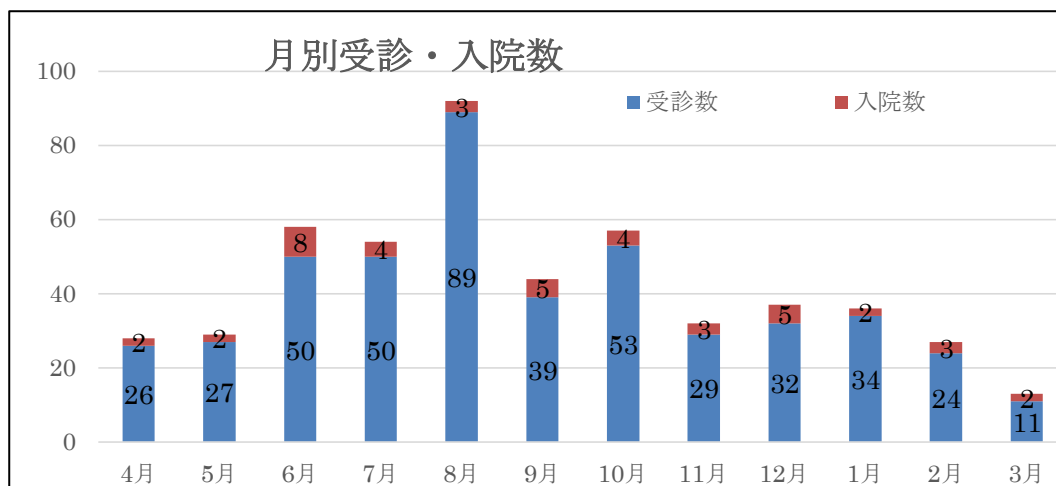
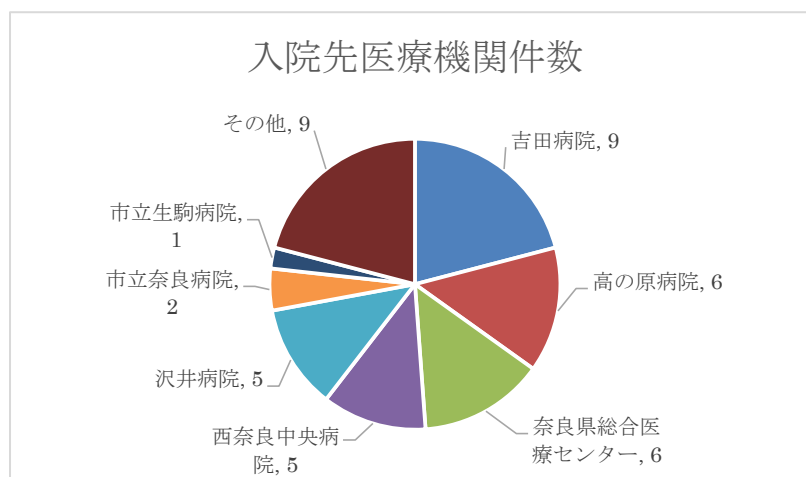


表2 <入院医療機関>



○個別機能訓練部門

フロアへの訪問リハビリにも慣れ、1月からは新施設での広い空間を利用してのリハビリも少しずつ取り組んできた。

他職種と連携・協働し、ADL（日常動作能力）維持、向上を目指した。

(1) フロアでの生活リハビリを充実させる。

移転後は個別機能訓練へと変更したため訓練の回数は減少したが各利用者に合わせた訓練内容が実施できた。

生活リハビリは、利用者全員の方を対象に、介護士との連携で実施することができた。

(2) 利用者のできることを増やし、満足度を得る。

他職種と連携しながら個々の心身状態に合わせた訓練を実施することができた。

(3) 毎月の理学療法士の訪問時の指導を受け、個別機能計画書を作成し実施する。

定期的に理学療法士の指導を受け、職員間で内容を共有し計画通りに実施することができた。

- (4) 予防の観点から離床の機会を設け、離・臥床時の安楽な体位と良肢位の保持に努める。
適切なポジショニングの方法について都度理学療法士の指導を受け、安楽な体位と良肢位保持に努めた。

	居室訓練（フロア）			ベッドサイド（居室）			合計（人）
	特養	ユニット	合計	特養	ユニット	合計	
30年度	3774	383	4157	1487	125	1612	5769
29年度	7090	—	7090	1541	—	1541	8631

※特養：特別養護老人ホーム平城園、 ユニット：ユニット型特別養護老人ホーム平城園

○栄養管理部門

- (1) 食べて頂ける食事の取り組みについて

旬の食材を盛り込んだ行事食、お誕生日食、選択食等の実施により、季節の移り変わりや生活の中に変化と楽しみのある食事を提供できた。又、利用者に適した食事形態や個人の嗜好・療養状態に配慮し、心身の満足と栄養状態の改善に取り組めた。

- (2) 栄養ケアマネジメントの実施

介護部門、看護部門との連携により、一人ひとりの身体状況に適した食事の提供と共に、カンファレンスの中で入園者又は家族の要望や同意を得る事により効果的な栄養ケアマネジメントが実施できた。

- (3) 災害用の備蓄について

災害に備えて、3日分（9食分）の備蓄内容の見直し、備蓄食品の保管場所と使用方法を給食会議で確認し、多職種での情報共有を実施できた。

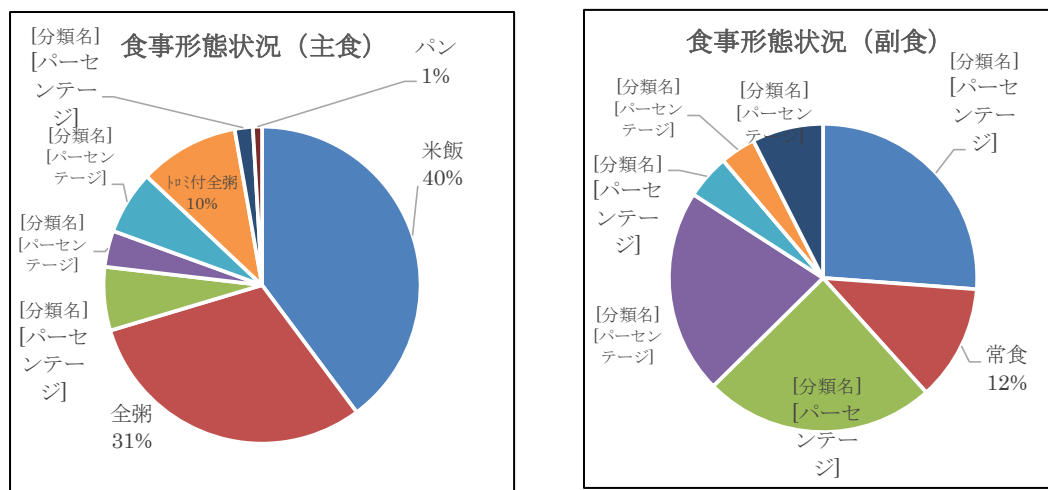
- (4) フロアごとにランチパーティーやおやつパーティーなどニーズに合わせたサービスが実施できた。

△療養食加算実施状況 31年3月末時点人数(実人数9人 8.6%)

療養食名	人数	療養食名	人数
糖尿病食	7人	貧血食	1人
脂質異常食	1人	心臓病食	0人

△経口維持加算 30年度実施状況（平均人数4名 3.7%）

<平成 31 年 3 月 食事形態状況(個別対応) >



○ボランティア部門

新築工事に伴いボランティアの受け入れを休止していたが、楽しみのある生活が送れるよう、居室訪問と喫茶室での飲み物の提供、傾聴の時間を設ける活動を実施し利用者に喜んでいただけた。新施設に移転後は感染症対策で活動を制限したことや、訪問での対応となり利用人数は減少したが、次年度に向け慰問や書道・カラオケ・コーラスなどのクラブ活動が再開できるよう準備を整えている。

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
976	1018	1093	1017	1111	890	899	893	719	225	245	362

平城園ショートステイサービス(10床 ※H31.1.16～開始)

年度初めから新築工事のため、ショートステイサービス(3床)は休止していたがその間、入院や退園の空床を利用しながらの稼働を行った。

H31年1月末より新施設にてショートステイ(10床)の受け入れを開始した。新施設移転直後の受け入れであるため、ご利用者の安全に配慮し、フロアの状態を確認しながら事業を再開した。

	延利用 日数	利用者 数	介護度別利用日数						
			要支援	要支援	要介護	要介護	要介護		
			1	2	1	2	3		
30年度	489日	22人	0日	0日	0日	42日	198日	175日	74日

奈良デイサービスセンター

本竣工まで事業を休止している。

平城園ホームヘルプステーション

- (1) 自立生活支援・重度化防止に関してはケアプランに基づき、利用者の自立を支援する介護に心がけ、利用者に寄り添い共に行う支援を実施している。
- (2) 定例のヘルパー会議では支援時の情報の共有を図った。個別計画に基づいた研修を実施し、ヘルパーとしての技術、知識の向上を図った。
- (3) 利用者のニーズに合ったサービスの提供ができるよう、関係者との連携を密に行い、利用者に応じた様々なニーズに添うよう努め介護・予防ともに訪問件数が増加した。
- (4) 登録ヘルパーの人材確保については、広告の掲載、チラシの作成と配布を行ったが、人材確保にはつながらなかった。引き続き新規登録ヘルパーの獲得を継続していく。

訪問介護・介護予防延数

	介護	予防	計
30年度	7046件	2537件	9583件
29年度	6738件	2330件	9068件
増減	+308件	+207件	+515件

※障害者総合支援事業3件

平城園在宅介護支援センター

平成30年度は、4月より主特定事業所加算Ⅱの算定要件が整ったため算定を再開した。そのため特定事業所加算算定事業所として、これまで以上にケアマネジメントの質の向上、他職種との連携、法令順守についてさらに高度なものを要求されるため、各介護支援専門員には常に上記の点を認識して業務にあたるよう周知徹底した。

- (1) 平成30年4月より事業所加算算定要件として新たに設けられた『他の法人が運営する居宅介護支援事業所と共同の事例検討会・研修会などを開催する』については、同年8月に研修計画に位置付け、11月より参画している（3ヵ月に1回開催）。
- (2) 新規ケースについては地域包括支援センターより介護予防のケースが月平均で2件の新規委託依頼があり、着実にケース数増加につながった。
- (3) 平成30年11月から2ヵ月間、介護支援専門員1名が病欠のため3名で対応となり平成31年1月まで事業所加算Ⅱの算定を取り下げる対応をとったが、1月より新たに1名採用となり、2月より事業所加算Ⅱの算定を再開することができた。
- (4) 平成30年3月、介護支援専門員実務研修の実習生を1名受け入れた。
- (5) 平成31年4月より常勤介護支援専門員4名体制となり、担当件数を超過するため、ならやま園居宅介護支援センターへ計5件を移管する等連携を図り件数超過に注意し業務に当たった。

利用者延件数(ケアプラン作成)

	予防	介護	計
30年度	438	1572	2010
29年度	315	1282	1597
増減	+123	+290	+413

認定委託件数(奈良市委託)

30年度計	214
29年度計	120
増減	+94

ヴァイラ秋篠

前年度の反省点から、入居活動の方法を見直し、営業件数よりも入居相談や面接に比重を置き、新規入居希望者の開拓と並行して、手持ちリストの整理と見直しを行った。平均の営業数や問い合わせ数は減少したが、入居相談及び面接数については月平均で1.5倍増のペースで実施した。

その結果、年度を通して完全入居率100%を達成することができた。また、前年度からの完全入居率100%も19ヶ月連続での達成となり、運営面では一定の成果を残すことができた。

法人内施設や居宅をはじめとする事業所間での紹介や施設間での引き継ぐ受け渡しの数も過去最大となり、各担当者との緊密な連携が保てるようになったことや、地域の入り口として住宅という立場からの法人における立ち位置が少しずつ確立できて来たという証でもあるとおもわれる。

年度末には、オープン以来最大のインフルエンザ感染者の対応に追われた。住宅という、ある程度個人個人の自由がきく環境下での感染症対応の難しさを痛感するとともに、イベントの中止や、レストランの使用禁止を含め発症状況に応じて臨機応変に対応することができ、今後につながるいくつかの対応策を講じることができた。

- ・月別入居契約数（契約戸：1日締め ・ 契約率：実数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	H31.1	2	3	平均
契約戸	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46
契約率	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

- ・年度内退去者 13名（男性2名 女性10名）

退去先内訳 ・法人内特養入所4名 ・他法人特養2名 ・他法人グループホーム2名
 ・館内移動（居室変更）1名 ・他のサ高住入居1名
 ・死亡3名（館内1名 入院先2名）

- ・年度内契約者 12名（男性4名 女性8名）

契約動機内訳 ・法人内居宅紹介3名 ・法人内特養2名
 ・包括紹介2名 ・他法人居宅紹介5名

- ・契約者数内訳：人（性別）

性別	契約数
男性	11
女性	38
合計	49

- ・年代別内訳：人（重要事項説明書に基づく）

年代	60歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上 85歳未満	85歳以上	合計
合計	0	0	15	34	49

・介護度別内訳：人（重要事項説明書に基づく） 平均介護度：支援2

介護度	自立	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
合計	10	2	3	13	13	3	3	2	49

・福寿会在宅部門利用者数

内訳 ・居宅・・・22名 ・訪問・・・20名 ・通所・・・5名

・食事 契約者数・・・41名 自炊者・・・8名

・食事提供数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	H31.1	2	3	合計	月平均	日平均
朝食	715	763	767	785	797	796	850	826	787	783	724	777	9370	780	25.6
昼食	725	793	779	836	846	824	852	836	810	894	765	812	9772	814	26.7
夕食	949	998	1000	1038	1041	1023	1092	1081	1015	1024	905	977	12143	1011	33.2
月合計	2389	2554	2546	2659	2684	2643	2794	2743	2612	2701	2394	2566	31285	2607	85.7

・生活相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	H31.1	2	3	合計	平均
件数	275	300	285	300	315	356	440	410	407	397	379	418	4282	356

・健康相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	H31.1	2	3	合計	平均
件数	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	13	1

・有償サービス利用件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	H31.1	2	3	合計	平均
件数	98	119	123	69	52	71	32	97	120	98	112	85	1076	89

・入居活動件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	H31.1	2	3	合計	平均
営業	2	9	12	10	10	16	2	18	9	3	6	10	107	8.9
問合せ	8	3	4	5	4	8	4	6	5	5	4	6	62	5.1
見学	4	2	3	3	4	4	2	5	3	2	3	6	41	3.4
見学者	18	4	18	5	9	7	4	7	5	4	7	9	97	8
入居相談 面接	15	13	15	19	19	28	18	15	7	3	9	13	174	14.5

・イベント実施報告

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	H31.1	2	3	合計	平均
実施数	27	24	29	25	26	28	31	26	27	15	20	29	307	25.5
参加者	213	231	244	263	318	290	294	208	295	150	262	243	3011	250

・生活支援バス利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	H31.1	2	3	合計	平均
西大寺	80	93	94	89	100	107	135	137	133	109	112	126	1315	109
高の原	19	16	17	17	6	11	12	16	47	2	5	25	193	16
買い物等	142	128	112	133	122	124	130	108	107	86	88	126	1406	117
合計	241	237	223	239	228	242	277	261	287	197	205	277	2914	242

平城園診療所

利用者の健康管理と日常的な治療を行い、重症者については関連病院との連携により対応した。常勤医師・診療所医師・特養看護師と共に疾病予防医療についての運営を行い、全職員の健康診断を始め、衛生管理者との連携を図り業務による疾病予防と健康管理に努めた。

受診者数

(単位：人)

	利用者	法人職員	地域住民	合計
30年度延人数	7,197	175	366	7,738
29年度延人数	6,946	177	426	7,549

□委員会活動

(感染症対策委員会)

定例会議では各部署からの問題点を話し合い、統一した感染予防策ができるよう委員を中心に改善することができた。職員出勤時の手洗い・手指消毒の励行とマスク着用を徹底し、利用者及び職員の感染予防に努めた。また、感染症について施設内研修を実施し、感染症に対する知識を深めた。2月に利用者や職員にインフルエンザ発症があり、マニュアルに沿って迅速に対応したが感染が拡大した。今回の反省を生かし、感染症を持ち込まないための防止対策を厳重にとっていくことや標準予防策の徹底、マニュアルの遵守など基本の大切さを全職員が周知するよう努めた。

(リスク対策委員会)

毎月の定例会議にて、事故報告の検証や防止対策について検討を行い実施することができた。又、施設内研修を実施し職員のリスク管理意識の向上に努めた。

1月に新施設へ移動し、利用者の生活や職員のケア環境が変化したことによる事故のリスクが高まらないよう、職員間の情報の共有を図り、危険予測と事故防止対策を取っている。

(研修委員会)

目標に挙げていた「介護のプロとして、基本介護力の維持、向上を目指す。合わせて、新施設に向けて新たな知識や支援」は、概ね達成できた。

園内研修の場では、国で定められた褥瘡対策ケア・感染症対策・身体拘束廃止・虐待防止・看取り介護・事故発生防止などの研修を中心に実施し、知識を基に根拠のある考えたケアが大切であることを全職員が意識できた。新施設に向けてのユニットケアの勉強会を実施し、新たなサービス提供の手法を積極的に学んだ。

□平成 30 年度実習生受け入れ状況

学校名等	ならやま園		平城園	
	人数	期 間	人数	期 間
奈良大学 (教員免許実習)	4名	平成 30.7.2～6(5 日間)		
	4名	平成 30.7.9～13(5 日間)		
	4名	平成 30.8.20～24(5 日間)		
	4名	平成 30.8.27～31(5 日間)		
	4名	平成 30.9.3～7(5 日間)		
	3名	平成 30.9.10～14(5 日間)		
奈良県職員	18名	平成 30.6.21～29(6 日間)		
介護労働安定センター	2名	平成 30.10.1～5(5 日間)	2名	平成 30.10.1～5(5 日間)
平城中学	2名	平成 30.6.12～14(3 日間)		
伏見中学			1名	平成 30.10.25～31(5 日間)
奈良福祉人材 センター			1名	平成 31.2.12～14(3 日間)
			1名	平成 31.3.26～28(3 日間)

(5) 施設外研修一覧 (平成30年度)

☆ならやま園

出張日	参加人数	出張先	目的
4月13日	2	大阪毎日新聞オーバルホール	2019年度経済連携協定(EPA)に基づく外国人看護師・介護福祉士候補者受入れ説明会
4月19日	2	ATCエイジレスセンター	法改正をふまえたこれからの介護人材戦略
4月24日	1	奈良市役所	配食サービス事業 検討会議
4月27日	1	社会福祉総合センター	平成30年度介護支援専門員更新研修(専門研修課程I・II)打合せ会議
5月23日	1	ホテルリガール春日野	平成31年3月新規学校卒業予定者を対象とする求人事務手続き等説明会
5月24日	2	奈良市役所	福祉避難所(民間施設)に関する説明会
5月25日	1	かしはら万葉ホール	平成30年度奈良県地域包括・在宅介護支援センター協議会 第1回トップセミナー・職員研究会
5月26日	1	天満ガーデン貸会議室	デイで効果を上げるためのリハ・プログラムセミナー
5月26日	4	花園大学	「福祉の就職説明会 in 花園大学」実施案聞き取り概要
6月21日	2	老健秋篠	平城・北部地域ネットワーク会議
6月22日	1	かしはら万葉ホール	平成30年度奈良県老人福祉施設協議会介護職員実践講座
6月29日	1	奈良佐保短期大学	外国人介護福祉士の導入に関する説明会
7月1日	2	奈良ロイヤルホテル	福祉の就職総合フェア2018(7月1日開催)
7月2日	5	なら100年会館中ホール	平成30年度近畿老施協議会奈良大会当日運営スタッフ打合せ会
7月7日	2	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県主任介護支援専門員更新研修
7月13日	1	はぐくみセンター	平成30年度奈良市特定給食施設等研修会
7月18日	1	はぐくみセンター	平成30年度奈良市アルコール関連問題懇親会 連続講座
7月25日	1	奈良市医師会館	奈良市在宅医療・介護連携支援センター開設記念研修会
7月26日	7	なら100年会館 ホテル日航奈良	平成30年度近畿老人福祉施設研究協議会奈良大会
7月27日	3	なら100年会館 ホテル日航奈良	平成30年度近畿老人福祉施設研究協議会奈良大会
7月29日	2	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県主任介護支援専門員更新研修
8月3日	1	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県老人福祉施設協議会介護職員実践講座
8月3日	2	奈良文化会館小ホール	平成30年度奈良県認定調査員新任研修
8月4日	2	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県主任介護支援専門員更新研修
8月11日	2	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県主任介護支援専門員更新研修
9月7日	1	奈良自動車学校	安全運転管理者講習
9月8日	2	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県主任介護支援専門員更新研修
9月11日	1	社会福祉総合センター	平成30年度企業主人権・同和問題研修会 公正採用選考研修会
9月15日	5	北福祉センター	平成30年第4回顔の見える多職種連携会議中ブロック(北部・平城圏域)研修会
9月19日	1	京都府庁福利厚生会館	平成30年度京都府外部評価調査員新規養成研修

9月25日	1	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県介護支援専門員更新(専門)研修「専門研修課程Ⅱ」の受講
9月25日	1	京都府庁福利厚生会館	平成30年度京都府外部評価調査員新規養成研修
9月28日	3	北福祉センター	平成30年度奈良市中部圏域合同ネットワーク会議
9月29日	2	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県主任介護支援専門員更新研修
10月5日	1	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県老人福祉施設協議会介護職員実践講座
10月6日	2	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県主任介護支援専門員更新研修
10月15日	1	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県介護支援専門員更新(専門)研修「専門研修課程Ⅱ」の受講
10月16日	1	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県介護支援専門員更新(専門)研修「専門研修課程Ⅱ」の受講
10月25日	1	京都府庁福利厚生会館	平成30年度京都府外部評価調査員新規養成研修
10月27日	2	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県主任介護支援専門員更新研修
10月30日	1	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県介護支援専門員更新(専門)研修「専門研修課程Ⅱ」の受講
10月31日	1	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県介護支援専門員更新(専門)研修「専門研修課程Ⅱ」の受講
11月5日	1	京都府庁福利厚生会館	平成30年度京都府外部評価調査員新規養成研修
11月5日	9	ホテル日航奈良	第31回奈良県老人福祉施設職員研究会
11月12日	1	社会福祉総合センター	奈良県老協協議会 第8回(平成30年度)オープンセミナー
11月14日	1	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県介護支援専門員更新(専門)研修「専門研修課程Ⅱ」の受講
11月15日	1	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県老人福祉施設協議会 第2回栄養士研究会
11月20日	1	NHO奈良医療センター	NHO奈良医療センター安全衛生講習会「職場における喫煙対策」
11月26日	1	はぐくみセンター	平成30年度いのち支える奈良市自殺対策関係職員研修会
11月29日	4	奈良市総合福祉センター	平成30年度奈良市中部圏域合同ネットワーク会議
12月3日	1	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県高齢者虐待防止研修
12月17日	1	奈良労働局	えるぼし・くるみん・ハラスメント対策セミナー
1月11日	2	奈良市役所	平成30年度奈良市老人福祉施設連絡協議会研修会
1月17日	2	奈良市役所	平成30年度介護支援専門員研修
1月21日	1	はぐくみセンター	平成30年度奈良市地域ケア研究会
1月25日	1	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県老人福祉施設協議会介護職員実践講座
2月4日	2	橿原市コンベンションルーム	2018年度奈良県介護人材確保対策総合支援補助金「認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業」VR認知帳プロジェクト研修会
2月4日	1	奈良県自治研修所	平成30年度介護支援専門員実務研修実習受入事業所説明会・意見交換会

2月15日	4	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県老人福祉施設協議会 テーマ別研修会
2月16日	4	奈良県橿原文化会館	平成30年度認知症介護実践リーダー・フォローアップ研修
2月16日	1	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県老人福祉施設協議会 在宅サービス研修会
2月20日	1	リガーレ春日野	「働き方改革関連法」説明会
2月23日	1	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県地域包括・在宅介護支援センター協議会 第2回トップセミナー・職員研究会議
2月25日	1	社会福祉総合センター	平成30年度奈良県老人福祉施設協議会 第3回栄養士研究会
2月27日	1	奈良市役所	平成30年度高齢者虐待対応研修会
3月15日	1	大阪府社会福祉会館	平成30年度近畿老人福祉施設協議会「ファーストステップ研修講師養成講座」講師認定試験（再試験日）における受講生役
3月16日	3	北福祉センター	平成31年第5回顔の見える多職種連携会議中ブロック（北部・平城圏域）研修会
3月16日	3	ジェイテクトアリーナ奈良	福祉のおしごとフェア2019in奈良
3月27日	1	大阪私学会館	介護分野における「特定技能」の受入れに関する制度説明会

☆平城圏

出張日	参加人数	出張先	目的
5月1日	1	奈良県社会福祉総合センター	平成30年度奈良県老人福祉施設協議会 第1回テーマ別研修委員会
5月16日	1	リガーレ春日野	平成30年奈良県老人福祉施設協議会 第1回通常総会
5月19日	1	シニアライフ木津川	第4回運営懇談会
5月23日	1	リガーレ春日野	平成31年3月新規学校卒業予定者を対象とする求人事務手続き等説明会
5月25日	1	かしはら万葉ホール	平成30年度奈良県地域包括・在宅介護支援センター協議会 第1回トップセミナー・職員研究会議
5月26日	1	花園大学	福祉の就職説明会
6月21日	1	老健 秋篠	平城・北部地域ネットワーク会議
6月22日～計5日間	1	奈良県社会福祉総合センター	平成30年奈良県老人福祉施設協議会 介護職員実践講座
6月28日～計7日間	1	奈良県社会福祉総合センター	平成30年度第1回認知症介護実践者研修
6月29日	1	奈良佐保短期大学	外国人介護福祉士の導入に関する説明会
7月1日	2	奈良ロイヤルホテル	福祉の就職総合フェア2018
7月6日	1	奈良市役所	平成30年度奈良市老人福祉施設連絡協議会第1回総会
7月6日	2	奈良市役所	研修「結核予防について」

7月7日～8日間	1	奈良県社会福祉総合センター	平成30年度奈良県主任介護支援専門員更新研修
7月13日	1	奈良市保健所	平成30年度奈良市特定給食施設等研修会
7月26日、27日	10	なら100年会館	平成30年度近畿老人福祉研究協議会奈良大会
8月9日	1	奈良県社会福祉総合センター	平成30年度奈良県老人福祉施設協議会 第2回テーマ別研修委員会
8月26日	1	奈良県医師会	平成30年度地域包括診療加算・地域包括診療料に係る かかりつけ医研修会
9月5日	1	橿原観光ホテル	平成30年度奈良県老人福祉施設協議会 第1回施設長連絡会議
9月7日	1	奈良自動車学校	安全運転管理者講習
9月13日	2	介護労働安定センター	職業訓練施設における事業所説明及び面接会
9月13日	1	奈良市保健所 (はぐくみセンター)	平成30年度第2回特定給食施設研修会
9月15日	2	北福祉センター	平成30年第4回顔の見える多職種連携会議中ブロック (北部・平城圏域)研修会
9月15日	1	奈良県看護研修センター	奈良県内における高齢者施設・在宅における看取り研修会
9月19日～計4日間	1	京都府庁 福利厚生会館	平成30年度京都府外部評価 評価調査員新規養成研修
9月21日	2	京都福祉専門学校	実習指導者懇談会
9月27日	1	奈良年金事務所	健康保険・厚生年金保険事務についての総合調査
9月27日	2	奈良県社会福祉総合センター	平成30年度奈良県認知症介護基礎研修
9月28日	2	北福祉センター	平成30年度奈良市中部圏域合同ネットワーク会議 『自立支援について』
10月12日	1	リガーレ春日野	平成30年度奈良県老人福祉施設協議会 第2回施設長連絡会議
10月20日	3	奈良県文化会館	平成30年度奈良県委託 福祉・介護マッチング機能強化事業 「私の♥お仕事」体感&出会いフェスタ
10月23日	1	奈良県社会福祉総合センター	平成30年度奈良県老人福祉施設協議会 第3回テーマ別研修委員会
10月25日	1	奈良県文化会館	指定更新時集団指導
10月25日	1	奈良市役所	平成30年度 第3回特別支援者研修(公開講座)
11月5日	10	ホテル日航	第31回奈良県老人福祉施設職員研究会議
11月14日	1	つむぎてらす 多目的ホール	第1回サービス調整会議
11月15日	1	奈良県社会福祉総合センター	平成30年度奈良県喀痰吸引等研修「管理者向け説明会」
11月16日～計9日間	2	奈良県社会福祉総合センター	平成30年度奈良県喀痰吸引等研修(第一号研修・第二号研修)

11月27日～3日間	1	TKP ガーデンシティ大阪梅田	初任保育所長等研修会
11月29日	4	奈良市総合福祉センター	平成30年度奈良市中部圏域合同ネットワーク会議
12月3日	1	奈良県社会福祉総合センター	平成30年度奈良県高齢者虐待防止研修
12月4日	1	橿原観光ホテル	平成30年度奈良県老人福祉施設協議会 第3回施設長連絡会議
12月12日	1	かしはら万葉ホール	平成30年度奈良県社会福祉大会「知事表彰」
12月20日～計6日間	1	奈良県社会福祉総合センター	平成30年度奈良県介護支援専門員更新(専門)研修「専門研修課程II」
1月11日	2	奈良市役所	平成30年度奈良市老人福祉施設連絡協議会研修会
1月17日	2	奈良市役所	平成30年度介護支援専門員研修
1月22日～計5日間	1	奈良県社会福祉総合センター	平成30年度奈良県介護支援専門員更新研修
1月23日～計3日間	1	TKP ガーデンシティ大阪梅田	初任保育所長等研修会
2月4日	1	奈良県自治研修所	平成30年度介護支援専門員実務研修実習受入説明会・意見交換会
2月6日	1	大和信用金庫八木支店	社会福祉法人向け消費税法改正セミナー
2月15日	3	奈良県社会福祉総合センター	平成30年度奈良県老人福祉施設協議会 テーマ別研修会
2月18日	1	新大阪丸ビル別館	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅の消費税軽減税率説明会
2月23日	1	奈良県社会福祉総合センター	平成30年度奈良県地域包括・在宅介護支援センター協議会 第2回トップセミナー・職員研究会議
2月25日	1	奈良県社会福祉総合センター	平成30年度奈良県老人福祉施設協議会 第3回栄養士研究会
2月27日	2	奈良市役所	平成30年度高齢者虐待対応研修会
3月6日	1	県社会福祉総合センター	平成30年奈良県老人福祉施設協議会 第2回通常総会
3月16日	2	ジェイテクトアリーナ奈良	福祉のおしごとフェア2019in奈良
3月16日	2	北福祉センター	平成31年第5回顔の見える多職種連携会議中ブロック (北部・平城圏域)研修会
3月20日	1	なら100年会館	奈良県福祉医療制度における現物給付方式導入説明会
3月25日	1	やまと会議室	平成30年度奈良市老人福祉施設連絡協議会第2回総会
3月27日	1	大阪私学会館	介護分野における「特定技能」の受入れに関する制度説明会